

本庄市の交通の現状について

第1回本庄市交通政策協議会資料

地勢

位置

- ・ 東経: 139度11分25秒
- ・ 北緯: 36度14分36秒

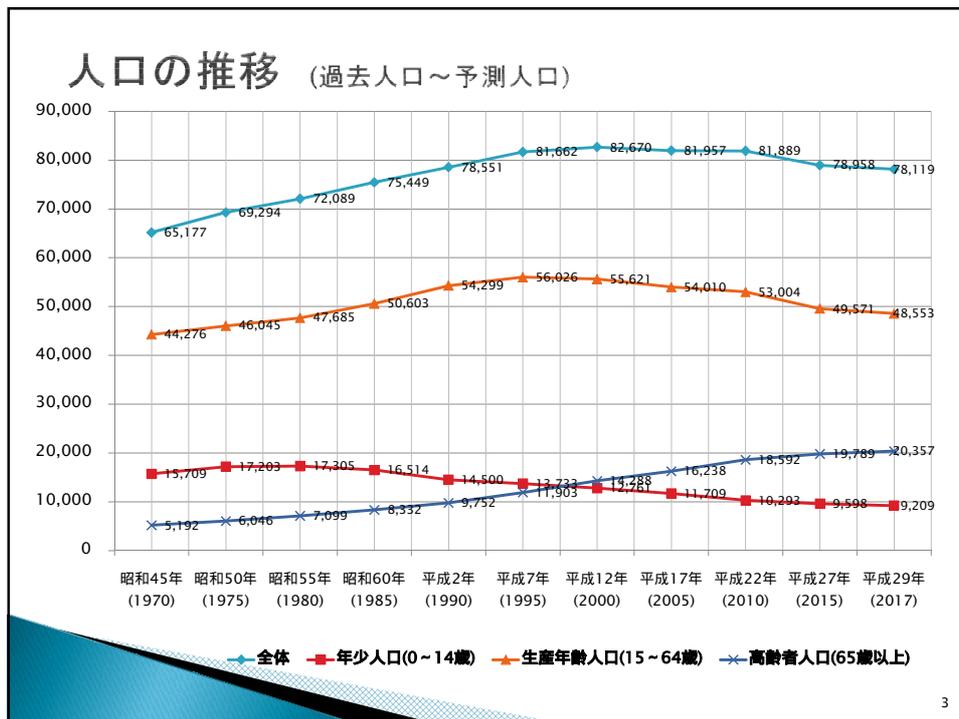
面積

- ・ 89.71km²

海拔

- ・ 最高: 593.6m
- ・ 最低: 38.0m





人口の推移の傾向

- ・ 平成14年をピークに、翌年から人口減少
- ・ 今後も漸減傾向の見込み。
- ・ 平成29年時点での将来人口は、概ね78,000人(想定)
- ・ 同時に、高齢者人口(65歳以上)は26%以上に。

市民アンケート調査の概要

調査の目的

- ・「本庄市総合振興計画 後期基本計画」策定にあたり、市政に対する意向調査

実施期間

- ・平成23年8月～9月

調査対象

- ・市内在住の満20歳以上の男女

対象者数

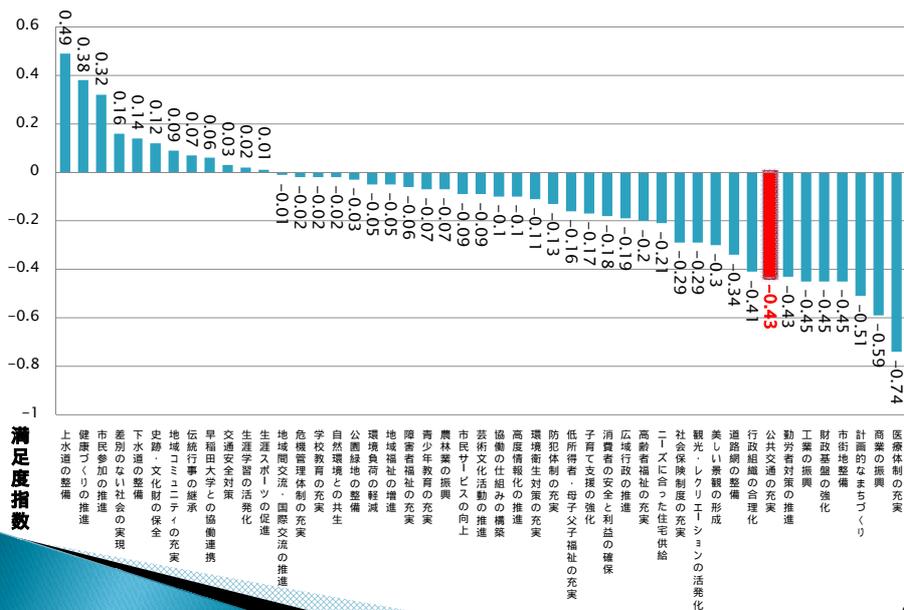
- ・3,500人(無作為抽出)

有効回収数

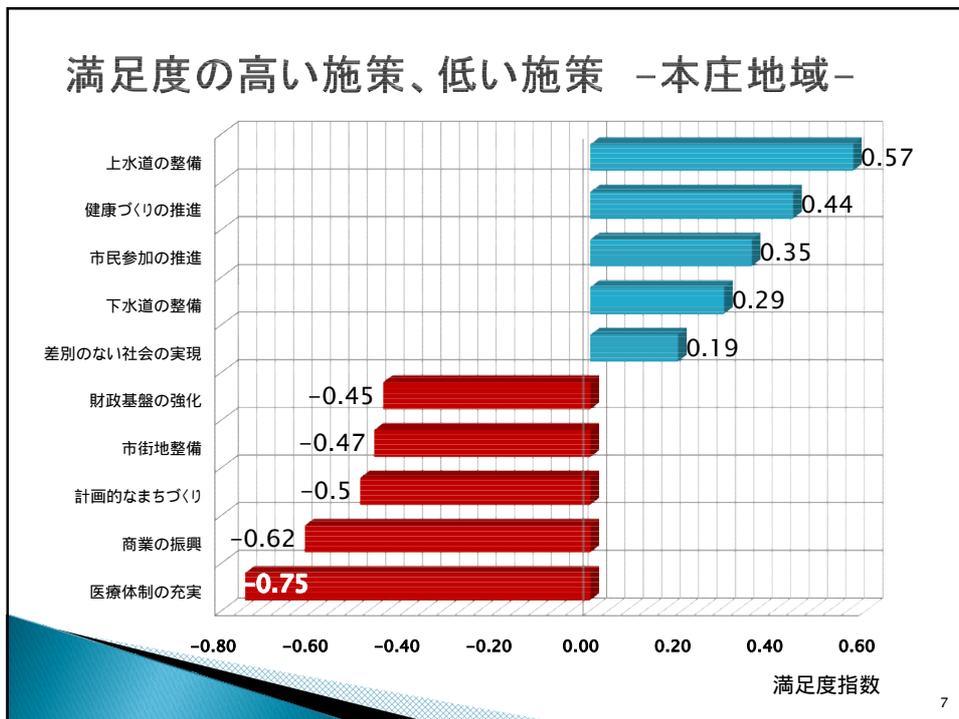
- ・1,067(回収率30.5%)

5

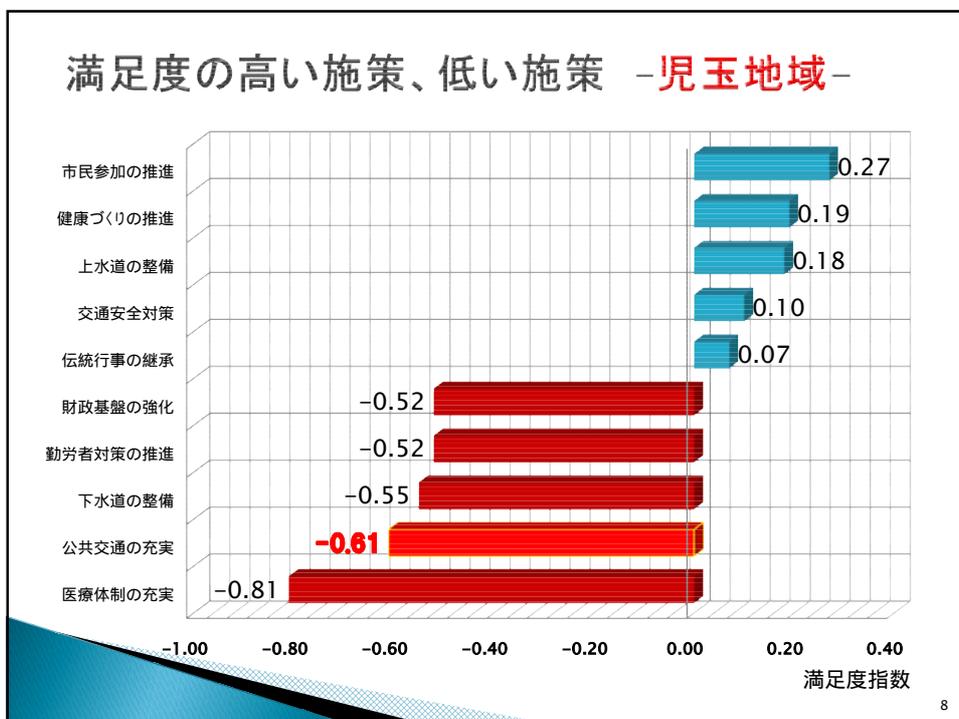
市民アンケート調査結果 - 施策の満足度順位 -



6



7



8

公共交通機関の状況

鉄道

- ・JR高崎線本庄駅
- ・JR八高線児玉駅
- ・JR上越新幹線本庄早稲田駅

民営路線バス

- ・本庄駅～児玉折返し場線（朝日自動車株）
- ・本庄駅～神泉総合支所線（同上）
- ・本庄駅～伊勢崎駅線（国際十王自動車株）
- ・本庄駅～寄居車庫線（武蔵観光株）
- ・いずみ号（本泉地区路線バス）（同上）

市運営バス

- ・市内循環バス
- ・秋平小学校スクールバス

9

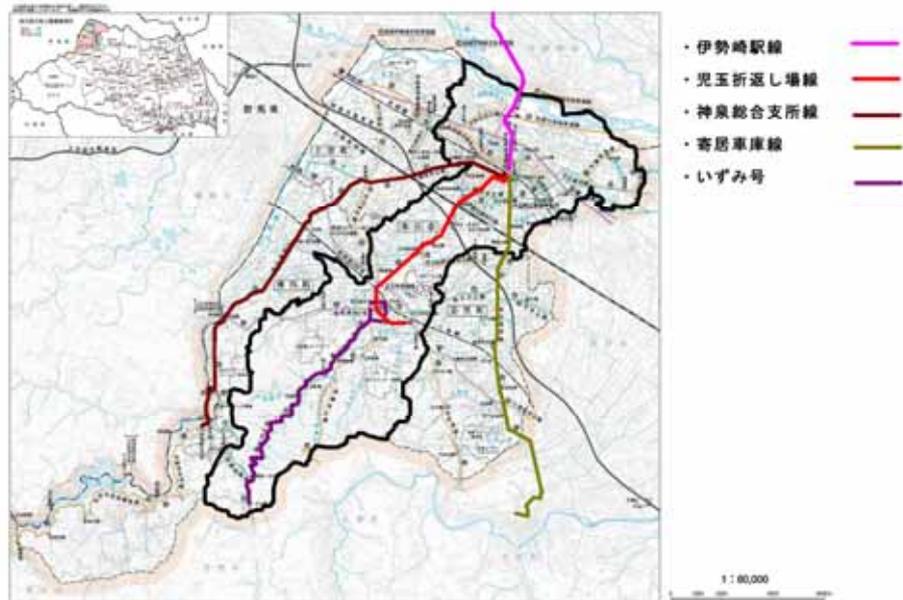
公共交通機関の網羅状況 一本庄地域



(児玉地域へ)

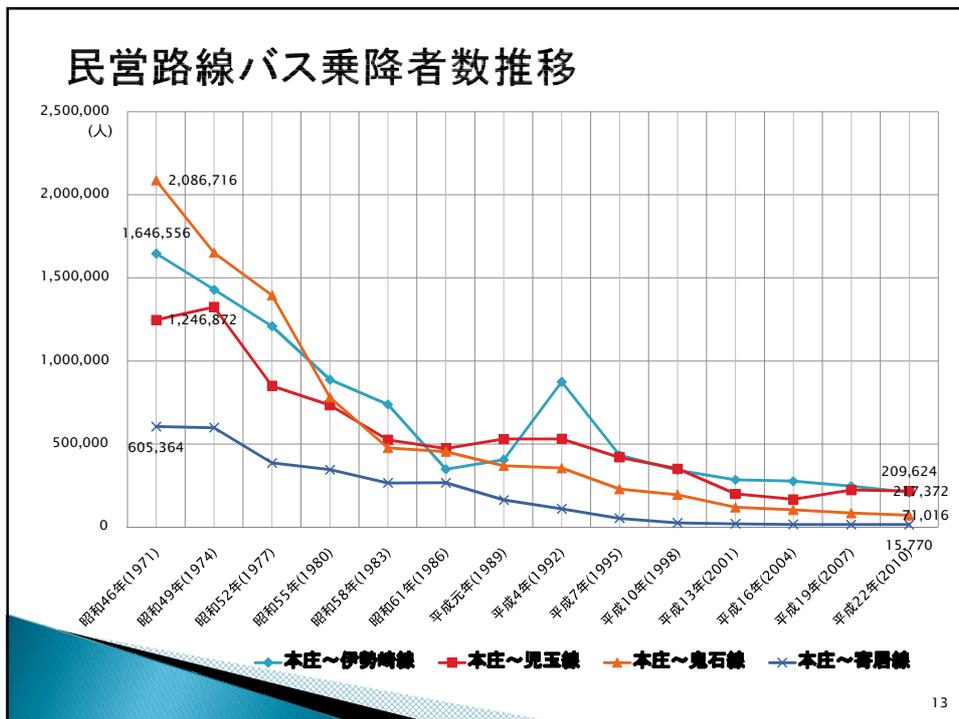
10

幹線系統 路線概念図(広域)



鉄道駅乗者人員推移

区分	本庄駅		児玉駅		本庄早稲田駅		合計
	年間	1日平均	年間	1日平均	年間	1日平均	年間
年度							
H18	3,842,355	(10,527)	148,190	(406)	757,010	(2,074)	4,747,555
H19	3,894,550	(10,670)	147,460	(404)	808,475	(2,215)	4,850,485
H20	3,935,430	(10,782)	151,110	(414)	796,065	(2,181)	4,882,605
H21	3,860,240	(10,576)	148,190	(406)	742,045	(2,033)	4,750,475
H22	3,833,230	(10,502)	136,150	(374)	733,650	(2,010)	4,703,390



民営路線バス乗降者数

路線	伊勢崎線		児玉線		神泉線		寄居線	
	年間	前年比	年間	前年比	年間	前年比	年間	前年比
年								
H18	229,947	-	217,795	-	85,698	-	16,210	-
H19	246,186	16,239	223,571	5,776	84,355	1,343	15,386	824
H20	235,413	10,773	222,924	647	81,950	2,405	14,969	417
H21	207,530	27,883	202,917	20,007	67,536	14,414	15,628	659
H22	209,624	2,094	217,372	14,455	71,016	3,480	15,770	142
H23	208,895	729	220,502	3,130	69,452	1,564	14,304	1,466

14

民営路線バス補助事業の状況

① 児玉折返し場線

- ・市補助額：5,024千円（平成23年度）
- ・運行本数：平日34本/日、土日30本/日（平均1時間2本、通勤時間帯3本）

② 神泉総合支所線

- ・市補助額：838千円（平成23年度）
- ・※ 他市町補助額：4,765千円
- ・運行本数：平日15本/日、土日14本/日（平均1時間1本）

③ いずみ号(本泉地区路線バス)

- ・市補助額：8,274千円（平成22年度・県補助額3,063千円含む。）
- ・運行本数：平日6本/日、土曜4本/日（1時間から2時間に1本程度）

④ 寄居車庫線

- ・市負担額：2,600千円（平成23年度・県北都市間路線バス維持対策協議会に支出）
- ・※ 他市町負担額：5,400千円
- ・運行本数：平日及び土日とも6本/日（1時間から2時間に1本程度）

15

市内循環バス概要

- ▶ 市予算(市単費)：18,189千円(平成23年度)
- ▶ 事業目的：市内公共施設利用の利便性の向上及び交通弱者の交通手段の確保を図ることを目的として運行。
- ▶ 事業概要

項目	内容
1. 運行方式	一般貸切旅客自動車運送事業者への委託
2. 運賃	無料
3. 循環コース数	本庄地域4、児玉地域3
4. 運行本数	各コース1日4本
5. 運行日	平日のみ(年末年始を除く。)
6. 車両数	3台(各26人乗り)

16

市内循環バス乗降者数推移

地域 年度	本庄地域		児玉地域		全域	
	年間	1便 平均	年間	1便 平均	年間 前年比	1便 平均
平成20年度	23,202	5.97	4,104	1.41	27,306 —	4.01
平成21年度	21,932	5.66	3,493	1.20	25,425 1,881	3.75
平成22年度	21,594	5.55	4,229	1.45	25,823 398	3.80
平成23年度 ※	18,418	5.16	2,764	1.03	21,182 4,641	3.39

※ 平成23年度は、24年2月分までの集計。

17

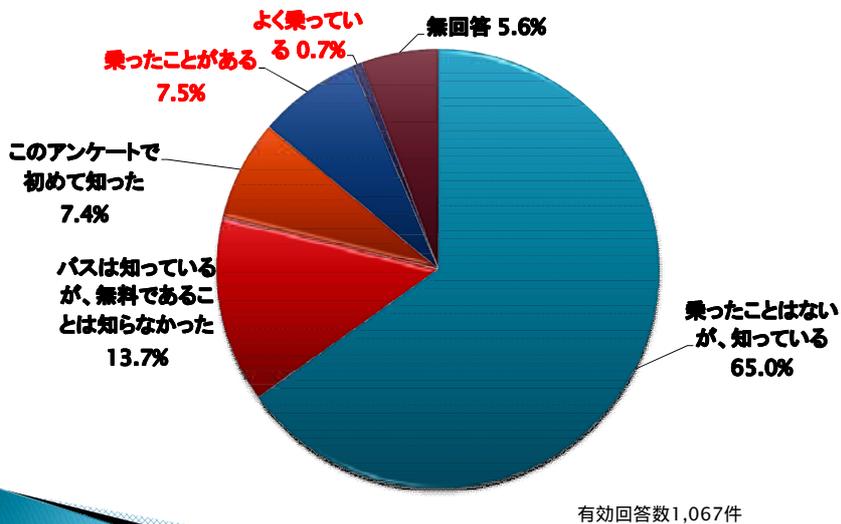
市内循環バスに関するアンケート結果

「市民アンケート調査」にて

- ・ 設問① 市内循環バス(運賃無料)を知っていますか、又は乗ったことがありますか。
- ・ 設問② 今後の市内循環バスのあり方について、どう思いますか。
- ・ 設問③ 市内循環バスの運賃を有料にした場合、いくらにすべきと思いますか。

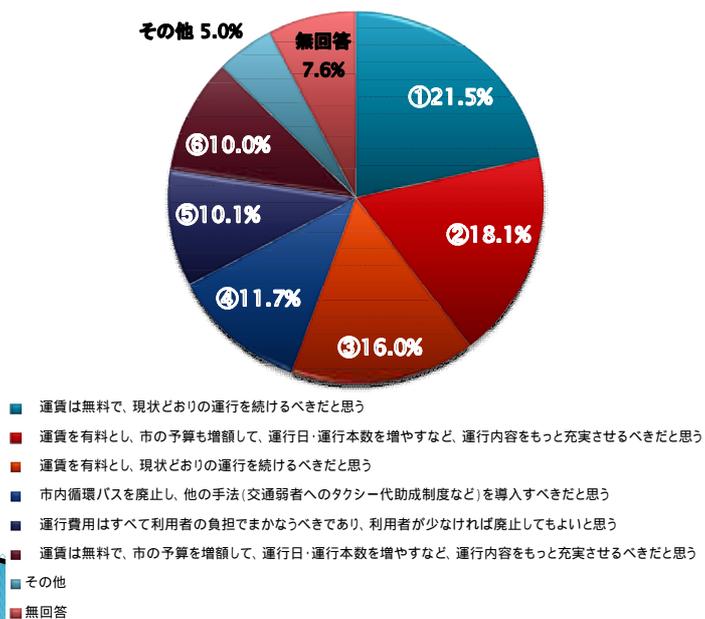
18

設問① 市内循環バスの利用度、認知度



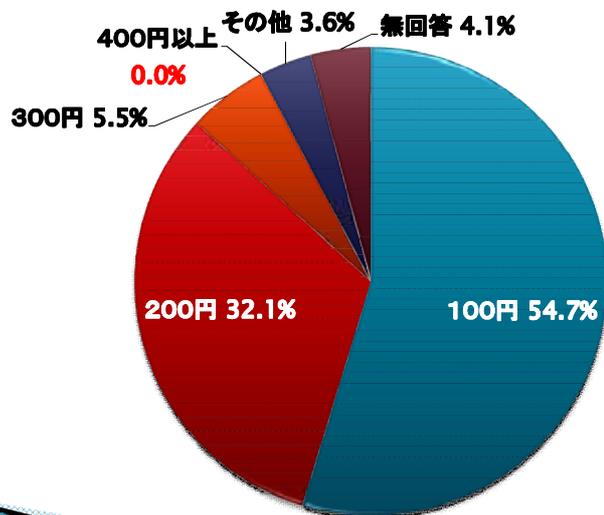
19

設問② 今後の市内循環バスのあり方



20

設問③ 市内循環バスの運賃



21

いずみ号(本泉地区路線バス)概要

- ▶ 事業目的: 本泉地域から児玉駅周辺市街地までを結び、児玉中学校生徒の通学をはじめとした沿線住民の生活路線として運行。
- ▶ 事業概要

項目	内容
1. 運行方式	一般貸切旅客自動車運送事業者への運行経費補助(道路運送法旧21条許可による有償運送)
2. 運賃	有料(対距離区間制)、65歳以上無料
3. 運行本数	月曜～金曜1日6本、土曜1日4本
4. 運行日	月曜から土曜まで(年末年始を除く。)
5. 車両数	1台
6. 運送収入	2,362千円(平成22年度決算) ※ 小中学校生徒通学定期代(1,372千円)含む。
7. 県補助金	3,063千円(同上)
8. 市補助分	6,106千円(同上) ※ 65歳以上無料分の補助(895千円)含む。

22

いずみ号乗降者数推移

年度	乗降者数	前年比	1日平均	1便平均
平成18年度	14,349	—	48	8.5
19年度	13,344	1,005	45	7.9
20年度	12,569	775	42	7.5
21年度	11,010	1,559	37	6.6
22年度	10,604	406	36	6.3
23年度※	(3,556)	—	(16)	(2.8)

※ 平成23年度は、平成23年12月末までの数字。

23

秋平小学校スクールバス概要

- ▶ 市予算：2,603千円(平成23年度委託額)
- ▶ 事業目的：平成23年度からの本泉小学校の休校に伴い、同小児童の秋平小学校への通学手段の確保を図ることを目的として運行。
- ▶ 対象児童数：20名
- ▶ 事業概要

項目	内容
1. 運行方式	一般貸切旅客自動車運送事業者への委託 (受託事業者:群馬バス株)
2. 運賃	無料
3. 運行コース	本泉地域～秋平小学校 (※ いずみ号と重複する部分多い。)
4. 運行本数	登校時1本、下校時2本
5. 運行日	授業日程(その他長期休暇中の登校日等)
6. 車両数	1台

(児玉地域図→)

24

交通全体の課題①

高齢者対応の交通手段の確保

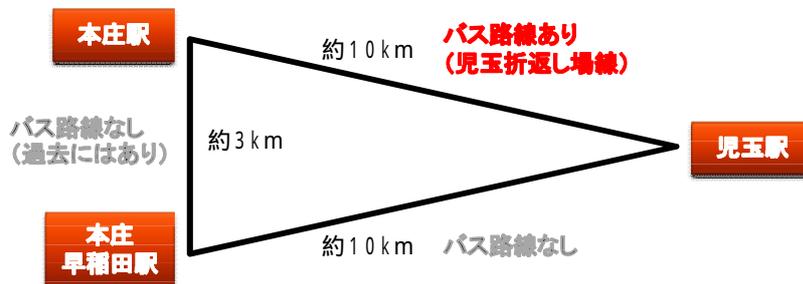
- 自家用車を持たない場合又は運転に不安がある場合の有効な代替手段の確保について
 - ・ 買い物、通院等の日常的な移動に不自由をしている。
 - ・ 公共施設の利用も難しいとの声も。
- ・ ⇒ 市内公共交通のサービスレベルの向上
- ・ ⇒ 公共交通機関の利用促進策
- ・ ⇒ 「地域全体で支える公共交通」の意識啓発

25

交通全体の課題②

市内市街地間を結ぶ交通手段について

- 本庄早稲田駅周辺開発の進捗により、必要性が増大
- ・ 3駅周辺市街地を結ぶ公共交通機関の現状



- ・ ⇒ 需要を勘案した公共交通サービス導入等の検討

26

交通全体の課題③-1

コミュニティサイクルの導入について

- ・ **エコタウン推進、健康増進の一環として、コミュニティサイクルの導入の検討**
 - ・ 現状は、近距離・短時間の移動でも自家用車を使う。
 - ・ 来街者(観光客等)の視点。気軽な交通手段の不足。
- ・ ⇒ **公共施設駐輪場及びサイクルポートにて、コミュニティサイクル導入を検討**
- ・ ⇒ **自転車走行環境の整備**

27

交通全体の課題③-2

自転車利用促進に適している埼玉県

- ・ **自然**
 - ・ ⇒ **過去10年間の快晴日数、全国1位**
 - ・ ⇒ **県土に占める平地面積の割合、全国2位**
- ・ **サイクリングロード**
 - ・ ⇒ **大規模自転車道の総延長、全国4位**
- ・ **台数**
 - ・ ⇒ **自転車保有率、全国1位(1.3人に1台)**
 - ・ ⇒ **自転車出荷台数、全国1位**

28